

建築物名称 田辺三菱製薬加島オフィス

サブタイトル ECO でBCPを備えた
快適・コミュニケーションオフィス

所在地	大阪市淀川区加島三丁目 807-2 他3筆		
建築主	田辺三菱製薬株式会社		
設計者	清水建設株式会社		
用途	事務所		
敷地面積	94,723.61 m ²		
建築面積 (建ぺい率)	2,604.31 m ² (3%)		
延べ面積 (容積率)	8,468.80 m ² (10%)		
構造	鉄骨造		
階数	地上4階 / 地下0階		
CASBEE ランク	A	BEE値	1.5
大阪市の 重点評価	CO2 削減 4.0	省エネ 対策 4.0	みどり・ヒート アイランド対策 2.0

全景写真



立地、周辺環境

・神崎川添いにある同社の製薬工場・研究施設敷地内に位置し、既存施設の老朽化、スペースの拡大を意図した新築工事です。

総合的なコンセプト

事務室だけでなく、食堂や診療所など、厚生施設も併せ持つ複合的なオフィスビルです。
日常のECOと災害時を見据えたBCPに配慮し、利用者の快適性・コミュニケーションの活性化を目指しました。

建物断面構成図

□帰宅困難者受け入れ対応
・スペース、電力供給、防災備蓄
(最上階)

□高い耐震性能
・上級「Ⅱ類」
・保有水平耐力×1.25

□熱源二重化
・電気・ガス熱源の有利選択によるLCC低減

□照明制御
・全館LED, 昼光センサーによる調光制御

□停電・災害時を見据えた電源
・非常発電機による(48H)電力バックアップ

□建築2次部材の耐震化
・天井下地の耐震化

□BEMS
・エネルギー使用の見える化・省エネ意識向上

□高断熱・高遮熱
・LOW-e複層ガラス

□大規模河川氾濫への備え
・重要機器の上階設置

□十分な防災備蓄
・1,300名 3日分の備蓄

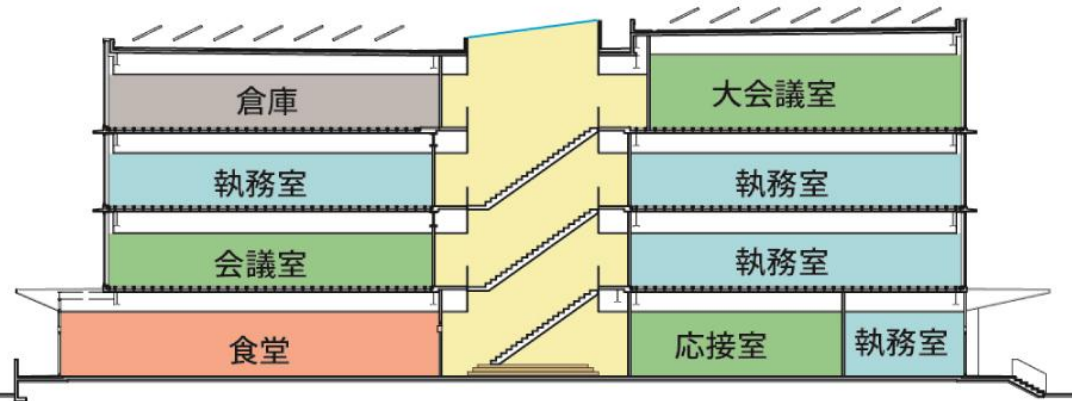
□太陽光発電装置
・140KW

□環境への配慮
・F☆☆☆☆の徹底
・ODP=0, 低GWP発泡断熱剤

□小規模氾濫への対策
・1階床レベルの嵩上げ
(GL+1.3m)

□高い天井、フレキシブルオフィス
・天井高2.9m 16m×47m
無柱オフィス

□明るい中央吹抜
・トップライトからの光がそそぐ、主動線である中央吹抜階段



□タスクアンドアンビエント空調
・快適な全面床吹出空調+個別吹出による省エネ効果

□コミュニケーション
・多様なコミュニケーションを意図した空間づくり(規模・開放感)

□オープンパントリー
・外気に接し、明るくオープンなりフレッシュ空間

環境配慮事項(ECO)

災害対策事項(BCP)

快適技術